

NPO CHILDREN MEET ARTISTS ANNUAL REPORT 2018



ASIAS

PKT

どうしがや
こども
ステーション

からだを奏でることから ～アーティスト・職員のこえ～

友愛学園児童部 × 新井英夫（体奏家・ダンスアーティスト）

芸術家と子どもたちが 2016 年から継続してワークショップを実施している友愛学園児童部は、18 歳以下の障害のある子どもたちに対し、自立した社会生活が営めるよう生活全般にわたり支援を行うことを目的にした障害児入所施設です。アーティストの新井英夫さん、友愛学園児童部渡部施設長、石川副施設長にお話を伺いました。

（2019年2月24日インタビュー実施、全文はウェブサイトのコラムに掲載）

2018年度友愛学園児童部でのワークショップ概要

実施期間	2018年7月～2019年2月（月1回程度、8回実施）
参加者	小学3年～高校2年生（計14人）
アーティスト	新井英夫
アシスタント	板坂記代子、古川東
音の風景	ササマユウコ

ワークショップでどんなことをしましたか？

新井英夫さん：

動きによるコミュニケーションを即興で楽しむことが中心でした。例えば「フッと相手の息に吹かれたら、自分の身体が軽い羽になったつもりでフワッと動いてください」「息の強さ、方向によって羽が舞うようにして動いてください」と、言葉を使わずに対話をするような、動きのコミュニケーションを重ねました。時には音と動きとか、その両方を子どもたち自身につくってもらったり。



職員さんたちはワークショップにどのような効果を感じましたか？

渡部施設長：

子どもたちが、今まで見たことのないような表情や動きをしていました。ワークショップを通して、成功した時の達成感と失敗した時のリカバリーを同時に経験できたと思います。

石川副施設長：

ワークショップの様子を見た職員は皆「この子、こんなことができたんだ」「こう配慮するとできることが増えるんだ」など、その後の支援に活かせる発見を必ずするので、あえて毎回違う職員に付き添いをさせています。職員にとってもとても良い効果がありました。

ワークショップで印象的だった 場面はありますか？

石川副施設長：

K君という重度の障害を抱えたお子さんがいて、私たち職員は彼にはできないことが多いと思い込み、介添えしてしまいがちでした。でも新井さんたちアーティストの方々がK君との関わりの中で、できないのではなく行動に移すのに時間がかかっていただけということを発見をして下さって……。これは本当に感動しました。

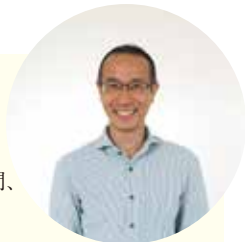
新井英夫さん：

ここの子どもたちはそれぞれなんらかの障害を抱え、家族とも離れて生活しています。でも「言葉を使わない動き」や「音によるコミュニケーション」をする僕のワークショップでは、障害があるからといってできないことがあったり面白い表現が出ないことはなく、むしろ言葉巧みな子どもよりも予想外の表現をすることも多いです。

彼らは声や動きで気持ちを表しても、それがコミュニケーションだと受け取られることが少ないのかもしれませんが。そんな「言葉を用いない些細な表現」を受け止めて返すことにアートのワークショップをやる意義があると思います。

あとは、ワークショップを通して「承認される」ことや、「自分がやったことを相手が受け止めて返してくれる」ことが、子どもたちにとって、すごい喜びなんだと毎回強く強く感じます。それが土台にあると、自分が感覚や想いを表現して良いんだという前提がつくれる。それはきっと人生において、自分を表現することや信頼する相手との関係の中で生きていくという自信に繋がっていくのではと思っています。

代表挨拶



2018年度1年間で、芸術家と子どもたちでは、計4015人の子どもたちに、延べ426日間、プロの現代アーティストによるワークショップなどを実施しました。そのすべての現場で我々スタッフは、子ども一人ひとりの動きや表情、つぶやきやしぐさなどに、ハッとさせられました。例えば微細なことだったとしても、それはどれもかけがえのない、そのとき、その場でこそ子どもたちから出てきた「生きている証し＝表現」だったと思います。

いま小中学校は新学習指導要領への移行期間で「主体的・対話的で深い学び」（いわゆるアクティブ・ラーニング）が謳われています。これは我々が20年前から実践してきたワークショップという学びの手法と親和性の高い内容と思われます。一方、児童福祉の現場でも、例えば被虐待児に対して、自己肯定感を高め、他者との信頼関係を回復していく取り組みとして、ワークショップが注目されつつあります。

“表現”と“コミュニケーション”のプロであるアーティストによるワークショップは、まさにいま、様々な現場で必要とされていることを実感しています。

さて、2018年秋、よみうり子育て応援団大賞（主催：読売新聞社）の奨励賞を受賞しました。これまで当団体を支えてくださった皆さまのご支援の賜物と感謝します。そして同じ頃、公式ウェブサイトのリニューアルしました。我々の活動や目指していること、そして現代社会の子どもたちに何が必要で、アーティストとの出会いが彼らにどんな影響を与えているのか、改めて整理し言葉にしました。今後も積極的に社会に活動意義を発信していきます。ご支援どうぞよろしくお願いします。

特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち 代表 堤 康彦



©仙道美穂子

すべての子どもたちに、 アーティストとの 出会いの場を！

芸術家と子どもたちは、家庭環境や障害の有無に関わらずすべての子どもたちにアーティストとの出会いの場を提供し、創造的活動を通して、自分と他者の良さ、違い、多様性を認めあい、豊かな関係をつくることを目指しています。

なによりも現場が一番。“コーディネーター”という役割

芸術家と子どもたちのスタッフは、代表の堤も含めた全員がコーディネーター。

ワークショップが子どもたちや学校・施設、アーティストにとってより豊かな体験となるよう、日々奔走しています。

コーディネーターの仕事

学校の先生や施設の職員とのコンタクト

ワークショップを行う担当の先生や職員と事前に面談。
どんなことをやりたいか、どんな子どもたちか、
先生や職員ご自身のこの取組みに対する想いなどを丁寧にヒアリングします。

アーティストの選定

先生や職員からヒアリングした内容を考慮して最適なアーティストを選定します。
日頃からアーティストを発掘することも大切な仕事のひとつ。

アーティストと先生・職員との事前打合せ

アーティストと学校や施設へ出向き、ワークショップの内容を相談します。
普段違う世界で働く両者の間に立ち、信頼関係構築の土台を作ります。

ワークショップ（授業）の実施

準備物や段取りの確認やボランティアスタッフの手配をし、いよいよ当日。
先生や職員には子どもたちがより活き活きと活動できるよう率先して参加したり、
子どもたちへのフォローをしてもらえるよう促します。
ワークショップ中はアーティストがスムーズに進行できるようサポートしたり、
ワークショップが子どもたちの内面にどんな影響を与えているのか読み取ります。

ふりかえり

ワークショップ終了後、アーティストと先生・職員とのふりかえりをします。
内容や子どもたちの様子はどうだったかななどを意見交換して今後につなげます。



MAYU
NAKANISHI



YUKA
YOSHIKAWA



YU
FUNAMOTO



JUNKO
ITOKAWA



NANA
NAGATA



NANAKO
KUBOTA



AZUMA
FURUKAWA



MAI
WATANABE



ASIAS

エイジアス

芸術家と子どもたちの活動の主軸となるのが

ASIAS (Artist's Studio In A School)。

小中学校や児童養護施設など、

子どもたちが日常を過ごす場に

表現とコミュニケーションの

プロであるアーティストが訪れます。

活動形態①

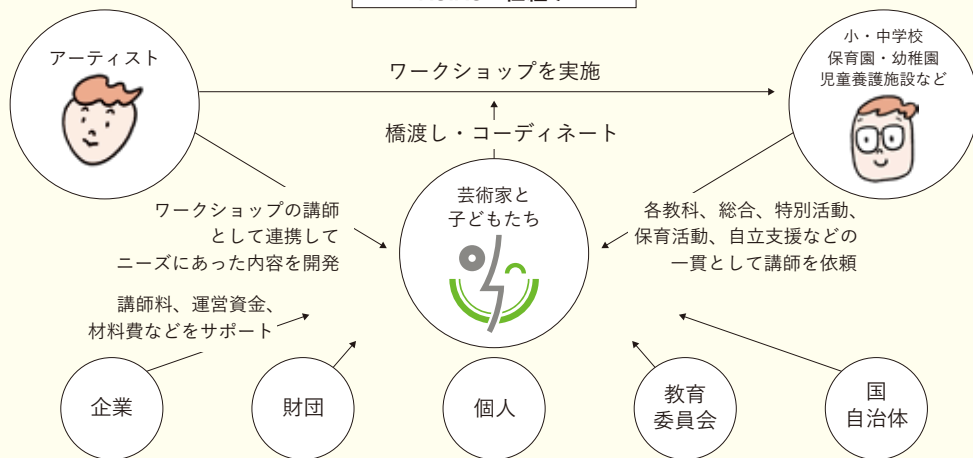
先生・職員から直接
依頼を受けて実施

ASIASに興味のある都内の公立小学校・
児童養護施設などから
直接ご連絡をいただき、実施します。

活動形態②

教育委員会や自治体などと
協働して実施

ASIASの仕組み



双方向型のワークショップがもたらすもの

私たちが展開するのは一方向の講義や鑑賞型プログラムではなく、コミュニケーションやプロセスを重視するワークショップ型授業。アーティストと子どもたちや、子どもたち同士がたがいに刺激を受け双方向の関係性を築きながら活動します。ワークショップでは、子どもたちは音の変化や他者との身体的な触れ合いなど五感を通じて様々な刺激をインプットし、身体感覚を研ぎ澄まさせていきます。その結果としてアウトプット（表現）が生まれます。子どもたち一人ひとりによって違う感覚や表現と向き合うことは、子どもたちが自分だけの表現に気づいたり、自分とは違う友達の表現を認めることにもつながります。

公立小中学校でのエイジアス

～子どもたちの「日常」にアートを届ける～

美術館では子ども連れの家族を目にすることもありますが、日常的にアートに触れる暮らしをしている家庭の割合は低く、子どもがアートに出会う機会は家庭環境に大きく左右されます。親の興味関心や経済状態によって、子どもたちの文化的格差が生じているのが現状です。

「あらゆる子どもたちにアーティストと出会う機会を提供したい」そんな思いから、子どもたちの日常生活の場である学校の授業へアーティストを派遣するエイジアスが始まりました。当たり前だと思っていたことや友達とのいつもの関係にアーティストが介入すると、少し変化が生じるような体験。こういった大小さまざまな化学反応が連続的に起こるのがエイジアスのワークショップです。



特別支援学級や特別支援学校でのエイジアス

アーティストと一緒に特別支援学級や特別支援学校、障害児入所施設など
障害のある子どもたちがいる場所に出向き活動しています。

担当教員・職員の方と意思疎通を図り、活動方針・方法を共有しながら
数日のワークショップを実施する取り組みです。

アーティストも目を見張る 子どもたちの表現力！

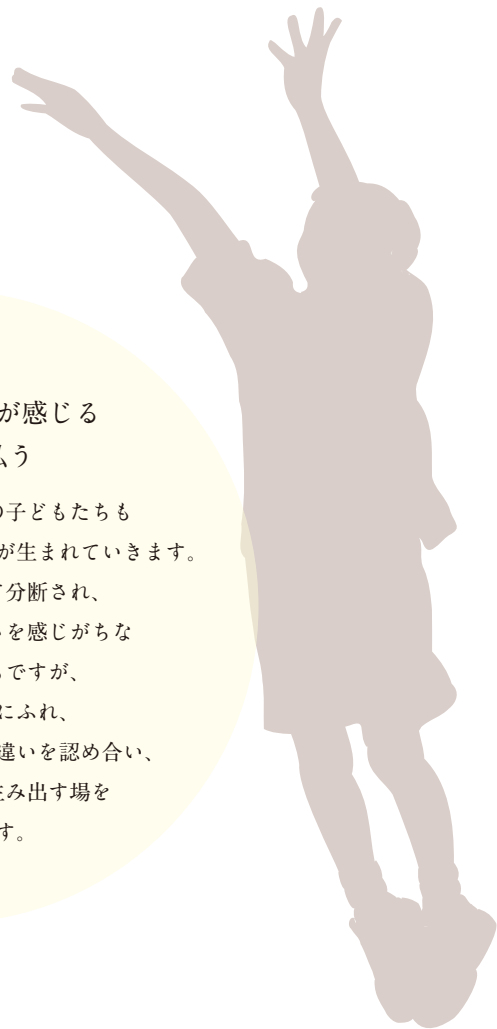
障害のある子どもたちは、その特性ゆえに、
独特の身体感覚を有していることがあります。

細部にこだわる子どもが
繊細で素晴らしい絵を描いたり、
聴覚過敏の子どもが通常聞こえない周波数の音で
身体をゆらすなど、その感覚が特異な才能として
発揮されることがあります。
エイジアスでは、障害の有無に関わらず
彼らがいま何を感じ取っているのかを
丁寧に読み解くことを目指します。

障害のある子どもが感じる 分断を取り払う

彼らと活動することで他の子どもたちも
新しい感覚と出会い、新しい表現が生まれていきます。

「マイノリティ」として分断され、
周囲と馴染めず生きづらさを感じがちな
障害のある子どもたちですが、
彼らの考え方や行動にふれ、
子ども一人ひとりが他者との違いを認め合い、
そこから一緒に何かを生み出す場を
つくっていきます。



児童養護施設でのエイジアス

児童養護施設で暮らす子どもたちには、施設だけでは抱えきれないほど様々な課題があります。

約6割が虐待を受けた経験があり、その人数は年々増加※。

また、何らかの障害がある入所児童の割合も増加しています。

彼らは一般的な家庭で暮らす子どもたちに比べて大人との関わりが希薄で

自分一人では心の安定を図れず、自己表現できず、SOSを出せない場合もあります。

私たちは、アートを通じて様々な課題にアプローチするべく、

経験と実績が豊富なアーティストを派遣し

施設と連携しながらワークショップを実施しています。

※ 厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課『社会的養育の推進にむけて』（平成29年12月）より





©松本和幸



PKT

パフォーマンスキッズ・トーキョー

芸術家と子どもたちが、アートカウンシル東京

(公益財団法人東京都歴史文化財団)と

実施しているプロジェクトです。

ダンスや演劇、音楽などの分野で活動する

プロの現代アーティストを、

都内の学校・ホール・児童養護施設などに派遣。

10日間程度のワークショップを行い、

子どもたちが主役の

オリジナルの舞台作品をつくり上げます。

最終日に発表公演を行い、

多くの方々にワークショップの成果を発信していきます。



©松本和幸



©金子愛帆





©わたなべもも

親子でいっしょに
ホンモノのアートにふれてあそぼう！

どうしがや こどもステーション

所在地 東京都豊島区雑司が谷3-1-7千登世橋教育文化センターB1F

アクセス 東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅 2番出口直結
都電荒川線「鬼子母神前」駅より 徒歩2分
JR線「目白駅」より 徒歩15分



どうしがや こども ステーション

子育て中の親子・家族がいっしょに

楽しめるあそびのスペース。

芸術家と子どもたちが、

豊島区文化デザイン課と一緒に運営しています。

ダンス、音楽、演劇、絵本など、さまざまなジャンルの
アーティストによる、0歳から小学生くらいまで*の
子どもとその家族を対象にしたワークショップを開催。

小さいお子さんと一緒に、

ゆったりアートを楽しみながら

参加者同士で交流できる地域の交流拠点です。

どうしがやこどもステーションのプログラムは
豊島区内の区民ひろばでも出張開催しています。

※子どもの対象年齢はプログラムにより異なります

2018年度活動実績データ

2018年度総合計

参加した子どもの人数 **4015** 人 実施日数述べ **426** 日

◆ ASIAS

2018年度 実施一覧

参加児童・生徒数 2818 人 (90 件 / 94 校・園・施設) 実施日数延べ 322 日

① 豊島区「次世代文化の担い手」育成事業 計 8 校園(幼稚園 2 園、小学校 5 校、中学校 1 校) 実施日数延べ 17 日

2005 年度より豊島区教育委員会と協働で区立の幼稚園、小・中学校で ASIAS を実施しています。

名称	所在地	学年・学級 / クラス数	児童数	教科・領域	ジャンル	アーティスト	実施月	日数
西巣鴨幼稚園	豊島区	4・5 歳児 / 2 クラス	49		演劇	渡辺麻依	12	2
南長崎幼稚園	豊島区	4・5 歳児 / 2 クラス	42		美術	外村友紀	11	2
巣鴨小学校	豊島区	1 年生 / 1 クラス	35	図工	美術	水内貴英	2	1
池袋第一小学校	豊島区	3 年生 / 2 クラス	48	図工	美術	水内貴英	12	1
池袋小学校	豊島区	6 年生 / 2 クラス	42	図工	美術	浅見俊哉	9	1
富士見台小学校	豊島区	6 年生 / 2 クラス	46	学級活動・総合	演劇	山田 宏平	10～11	3
千早小学校	豊島区	6 年生 / 2 クラス	46	図工	身体表現	長井江里奈	11～2	6
明豊中学校	豊島区	2 年生 / 3 クラス	105	音楽	音楽	石坂玄士	11	1

② アーツカウンシル東京「パフォーマンスキッズ・トーキョー」

計 12 校(小学校 9 校、中学校 1 校、特別支援学校 2 校) 実施日数延べ 105 日

計 3 施設(児童養護施設 2 施設、障害児入所施設 1 施設) 実施日数延べ 22 日

2008 年度より公益財団法人東京都歴史文化財団との共同主催事業として都内公立小・中学校(特別支援学級含む)、特別支援学校、児童養護施設等で ASIAS を実施。オリジナルの舞台作品を創作し、最終日に成果発表公演を開催します。

※詳細は 15 ページに記載

3 文部科学省・文化庁「文化芸術による子供の育成事業—コミュニケーション能力向上事業—」 計 16 校 (小学校 13 校、中学校 3 校) 実施日数延べ 85 日
2011 年度より文部科学省・文化庁や教育委員会と協働で、都内公立小・中学校 (特別支援学級含む) で ASIAS を実施しています。

名称	地域	学年・学級 / クラス数	児童数	教科・領域	ジャンル	アーティスト	実施月	日数
千代田小学校	千代田区	特別支援 / 固定級	12	体育・音楽・生活単元	身体表現	中村蓉	1~2	4
月島第二小学校	中央区	特別支援 / 固定級	19	図工・生活単元・総合	演劇	棚川寛子	9~11	8
鶴巻小学校	新宿区	2 年生 / 1 クラス	35	国語	演劇	渡辺麻依	9~11	7
中延小学校	品川区	特別支援 / 固定級	29	生活単元	身体表現	東野祥子	12	3
赤羽小学校	北区	特別支援 / 固定級	23	音楽・生活単元	音楽	若鍋久美子	12~1	3
赤羽台西小学校	北区	3 年生 / 2 クラス	50	総合	身体表現	長井江里奈	9~11	5
大泉第三小学校	練馬区	特別支援 / 固定級	14	生活単元	身体表現	Co. 山田うん	1~3	6
古千谷小学校	葛飾区	特別支援 / 固定級	19	図工・生活科	身体表現	東海林靖志	11~12	3
二上小学校	葛飾区	特別支援 / 固定級	25	音楽	音楽	尾引浩志	1~2	4
愛宕小学校	八王子市	5 年生 / 2 クラス	64	総合	身体表現	青木尚哉	12~1	7
南町小学校	府中市	特別支援 / 固定級	23	生活単元	音楽	港大尋	12~2	5
大岱小学校	東村山市	特別支援 / 固定級	12	生活単元	身体表現	楠原竜也	1~3	4
谷戸小学校	西東京市	特別支援 / 通級	12	自立活動	身体表現	田畑真希	11~12	4
新宿中学校	新宿区	特別支援 / 固定級	20	体育・生活単元	身体表現	東野祥子	1~3	8
第四中学校	八王子市	特別支援 / 固定級	15	総合	演劇	渡辺麻依	11~2	10
立川第五中学校	立川市	特別支援 / 固定級	20	国語・体育・美術・音楽	身体表現	鈴木ユキオ	9~12	4

4 一般 (学校) 計 6 校 (小学校 5 校、中学校 1 校) 実施日数延べ 9 日

2000 年度より当事務局へ直接お申込みいただいた主に公立小・中学校で、企業・財団・個人などの支援を受けて ASIAS を実施しています。

名称	地域	学年・学級 / クラス数	児童数	教科・領域	ジャンル	アーティスト	実施月	日数
落合第二小学校	新宿区	特別支援 / 固定級	28	生活	身体表現	岩淵貞太	10	2
隅田小学校	墨田区	特別支援 / 固定級	7	音楽	音楽	すなまき	9	1
中野本郷小学校	中野区	特別支援 / 通級	5	自立活動	音楽	片岡祐介	11~12	2
多摩第二小学校	多摩市	特別支援 / 固定級	15	音楽・体育	身体表現	入手杏奈	1~2	2
池袋本町小学校	豊島区	5 年生 / 2 クラス	78	音楽	身体表現	長井江里奈	9	1
第一中学校	八王子市	特別支援 / 固定級	10	体育・総合	身体表現	森下真樹	1	1

5 横浜市「横浜市芸術文化教育プラットフォーム／学校プログラム」 小学校 1 校 実施日数 3 日

2007 年度より横浜市芸術文化教育プラットフォームと協働で、横浜市立の小学校で ASIAS を実施しています。

名称	所在地	学年・学級 / クラス数	児童数	教科・領域	ジャンル	アーティスト	実施月	日数
南山田小学校	横浜市	3 年生 / 3 クラス	119	体育	身体表現	田畑真希	1	3

6 豊島区「子どものための文化体験事業」 計 26 園(公立保育園 12 園・公立幼稚園 2 園・私立保育園 12 園) 実施日数延べ 22 日

2007 年度～豊島区文化デザイン課と協働で、豊島区内の保育園などで ASIAS を実施しています。

名称	所在地	学年・学級 / クラス数	児童数	ジャンル	アーティスト	実施月	日数
池袋第五保育園	豊島区	5 歳児 /1 クラス	22	身体表現・音楽	たけうちみずゑ	12	1
池袋幼稚園		5 歳児 /1 クラス	28				
わくわく保育園		5 歳児 /1 クラス	4				
南長崎第一保育園	豊島区	5 歳児 /1 クラス	20	音楽	尾引浩志	1	1
南長崎幼稚園※		5 歳児 /1 クラス	0				
愛の家保育園※		5 歳児 /1 クラス	0				
※インフルエンザの影響により当日不参加							
駒込第二保育園	豊島区	5 歳児 /1 クラス	20	身体表現	Co. 山田うん	11	1
巣鴨第一保育園	豊島区	5 歳児 /1 クラス	20	身体表現	早川朋子	2	1
西巣鴨第三保育園	豊島区	4 歳児 /1 クラス	24	音楽	石坂亥士	1	1
東池袋第二保育園	豊島区	5 歳児 /1 クラス	17	身体表現	手代木花野	11	1
西池袋第二保育園	豊島区	5 歳児 /1 クラス	21	音楽	関根真理	11	1
池袋第一保育園	豊島区	5 歳児 /1 クラス	20	音楽	関根真理	2	1
池袋第二保育園	豊島区	5 歳児 /1 クラス	20	身体表現	楠原竜也	1	1
高南保育園	豊島区	5 歳児 /1 クラス	20	身体表現	田畑真希	1	1
目白第一保育園	豊島区	5 歳児 /1 クラス	20	音楽	石坂亥士	2	1
池袋第三保育園	豊島区	5 歳児 /1 クラス	21	身体表現	荒悠平	1	1
まちの保育園東池袋	豊島区	3・4 歳児 /2 クラス	11	身体表現	田畑真希	12	1
駒込第三保育園	豊島区	4 歳児 /1 クラス	21	音楽	石坂亥士	2	1
東進ポップキッズ大塚キャンパス	豊島区	4・5 歳児 /2 クラス	22	音楽	荒井康太	12	
アンソレイユ保育園	豊島区	4 歳児 /1 クラス	21	身体表現	田畑真希	12	1
西巣鴨・学びの保育園	豊島区	4・5 歳児 /2 クラス	21	音楽	若鍋久美子	2	1
南大塚保育園	豊島区	4・5 歳児 /2 クラス	39	音楽	尾引浩志	11	1
アスク池袋本町	豊島区	4・5 歳児 /2 クラス	13	身体表現	楠原竜也	3	1
まなびの森保育園東長崎	豊島区	3・4・5 歳児 /3 クラス	27	身体表現	新井英夫	3	1
ういず巣鴨駅前保育園	豊島区	4・5 歳児 /2 クラス	20	身体表現	長井江里奈	2	1
西池袋そらいる保育園	豊島区	4・5 歳児 /2 クラス	34	音楽	荒井康太	1	1

7 公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団「ふれあいアート事業」

計 18 園 (私立保育園 11 園・公立保育園 2 園・公立幼稚園 5 園) 実施日数延べ 28 日

2008～2012 年度は港区地域振興課と協働、2013 年度、2016 年度～は公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団と協働で、港区内の保育園・幼稚園などで ASIAS を実施しています。

名称	所在地	学年・学級 / クラス数	児童数	ジャンル	アーティスト	実施月	日数
みつばち保育園	港区	2 歳児 / 1 クラス	13	音楽	石坂玄士	11	1
赤坂ちとせ保育園	港区	4・5 歳児 / 2 クラス	7	音楽	渡辺麻依・金子由菜	9	2
みなと保育園	港区	5 歳児 / 1 クラス	12	音楽	石坂玄士	10	2
港南幼稚園	港区	5 歳児 / 2 クラス	56	音楽	関根真理	8	1
本村幼稚園	港区	4・5 歳児 / 2 クラス	41	音楽	石坂玄士	7	1
南山幼稚園	港区	4・5 歳児 / 2 クラス	58	身体表現	Co. 山田うん	6～7	2
台場保育園	港区	5 歳児 / 1 クラス	24	美術	ピスタチオ	6	2
あい保育園南麻布	港区	5 歳児 / 1 クラス	12	美術	中津川浩章	9	1
神明保育園	港区	5 歳児 / 1 クラス	27	美術	水内貴英	11	1
ニチキッズ白金台保育園	港区	5 歳児 / 1 クラス	11	美術	コネルテ	7	2
アンジェリカ田町保育園※	港区	5 歳児 / 3 クラス	18	美術	長峰麻貴	10	2
ベネッセ港南保育園	港区	5 歳児 / 1 クラス	12	美術	ピスタチオ	6～7	2
あい保育園青山一丁目	港区	4・5 歳児 / 2 クラス	11	美術	中津川浩章	7	1
まなびの森保育園麻布	港区	5 歳児 / 1 クラス	13	美術	湘南台造形教室	10	2
高輪夢保育園	港区	4・5 歳児 / 1 クラス	15	美術	水内貴英	8	2
中之町幼稚園	港区	5 歳児 / 2 クラス	42	美術	中津川浩章	10	1
まちの保育園六本木分室	港区	4・5 歳児 / 2 クラス	27	美術	塩川岳	10	2
赤羽幼稚園	港区	4・5 歳児 / 2 クラス	46	美術	宮添浩司	11	1

※系列園と合同実施

8 一般 (児童養護施設) 計 2 施設 実施日数延べ 10 日

2013 年度より当事務局へ直接お申し込みいただいた児童養護施設で、企業・財団・個人などの支援を受けて ASIAS を実施しています。

名称	所在地	学年・学級 / クラス数	児童数	ジャンル	アーティスト	実施月	日数
クリスマス・ヴィレッジ	足立区	小 1 年～高 2 年	14	演劇	棚川寛子	11～3	8
子供の家	清瀬市	年少～高 3 年	15	演劇	棚川寛子	3	2

◆ パフォーマンススキッズ・トーキョー (PKT)

2018年度 実施一覧

参加・出演した子どもの数 907人 発表公演鑑賞者数 6229人 実施日数延べ 196日

学校 14校 (小学校 10校、中学校 1校、小中学校 1校、特別支援学校 2校) 実施延べ日数 126日

ホール 5ホール 実施日数延べ 48日

児童養護施設等 3施設 実施日数延べ 22日

	名称	所在地	学年・学級	児童数	教科・領域	ジャンル	アーティスト	実施月	日数	観覧者数(人)
学校	鳥山小学校	世田谷区	5年生	57	体育	身体表現	黒須育海	10～3月	8	50
	美鳩小学校	中野区	6年生	116	体育・図工・学級活動	身体表現	青木尚哉	10～12月	8	500
	柴原小学校	葛飾区	6年生	41	総合	身体表現	村本すみれ	9～10月	7	150
	春江小学校	江戸川区	2年生	109	体育・生活	身体表現	楠原竜也	12～2月	8	120
	緑ヶ丘小学校	調布市	2年生	67	音楽・体育・生活・学校行事	身体表現	楠原竜也	7～11月	11	1,200
	小平第十五小学校	小平市	4年生	65	体育・総合	身体表現	入手杏奈	12～3月	8	70
	清瀬第四小学校	清瀬市	2年生	37	国語・体育	演劇	たけうちみずゑ	7～11月	10	300
	雷塚小学校	武蔵村山市	特別支援	41	国語・音楽・総合 他	演劇	前嶋のの	7～10月	10	700
	古里小学校	奥多摩町	特別支援	5	国語・音楽・総合 他	演劇	渡辺麻依	9～11月	10	300
	興本扇学園足立区立扇中学校	足立区	8年生 7年生	61 60	総合 ※他学年対象の体験 WS も実施	身体表現	長井江里奈	7～10月	7	1,005
	鹿本学園	江戸川区	中学部 1～3年生	15	音楽	身体表現	新井英夫	9～12月	9	130
学校／ 島しょ部	調布特別支援学校	調布市	中学部 3年生	12	国語・音楽・総合・生活	身体表現	セレノグラフィカ	9～2月	9	86
	つつじ小学校	大島	1～6年	38	総合的な学習の時間 特別活動 体育	身体表現	中村蓉	7～11月	12	300
ホール	青ヶ島小・中学校	青ヶ島	小学 2,3,6年 中学 1～3年	11	総合的な学習の時間 特別活動 体育、特別活動	身体表現	加藤紗希	5～9月	9	80
	世田谷区民会館	世田谷区	小学 3～6年生	44		身体表現	康本雅子	7～8月	10	387
	たましん RISURU ホール	立川市	小学 3～6年生	18		身体表現	田村一行	8～9月	9	196
	くにたち市民芸術小ホール	国立市	小学 3～6年生	18		身体表現	かえる P	1～2月	9	114
	狛江エコルマホール	狛江市	小学 2～高校 3年生	37		身体表現	伊藤キム	8月	10	252
	瑞穂ビューパーク・スカイホール	瑞穂町	小学 3～中学 3年生	19		演劇	渡辺麻依	8月	10	189
児童養護 施設等	品川景德学園	品川区	小学 1～中学 1年生	8		身体表現	辻田暁	10～3月	7	20
	星美ホーム	北区	小学 2～小学 4年生	6		身体表現	新井英夫	11～3月	7	50
	友愛学園児童部	青梅市	小学 3～高校 2年生 小学 1～高校 1年生	14 8		身体表現	新井英夫	7～2月	8	30
					※放課後等デューサーサービス対象の体験 WS も 1 回実施					

◆ ぞうしがやこどもステーション

2018年度 実施一覧

計 54 日間 親子 774 組 1931 人参加 (大人 944 人・子ども 987 人)

開催期間 平成 30 年 4 月 8 日 (日) ~ 平成 31 年 3 月 24 日 (日)

開催曜日 土曜日・日曜日・祝日

対象 0 歳から小学生くらいまでの子どもとその家族 ※子どもの対象年齢はプログラムにより異なる

プログラム名	ジャンル	アーティスト	日数	回数	親子組数	大人	子ども	同伴者 (子ども)	参加人数
ぞうしがやこどもステーション開催									
読んで遊んでえほんの会	演劇	えぼんず	10	10	153	177	159	29	365
港大尋と世界のフォークロアを歌おう	音楽	港大尋	11	11	109	138	112	22	272
片岡祐介と、あそび楽団！	音楽	片岡祐介	10	10	113	139	125	23	287
入手杏奈の親子でからだあそび	身体表現	入手杏奈	11	11	100	115	102	19	236
親子で楽しむ えんげきシアター	演劇	ドロップ / へんてこドロップ / 思考動物 / 谷口直子、林由未	6	7	134	165	168	19	352
親子で楽しむ ぶちライブ！	音楽	マリーモニカ	1	2	27	36	28	7	71
絵本作家シリーズ	美術	二歩 / たしろちさと	2	2	27	33	28	6	67
合同ワークショップ		えぼんず・港大尋 入手杏奈・澤和幸	1	1	35	51	42	3	96
区民ひろば開催									
読んで遊んでえほんの会 (区民ひろば目白)	演劇	えぼんず	1	1	18	19	21	-	40
おとあそび おながくあそび (区民ひろば豊成)	音楽	片岡祐介	1	1	58	71	74	-	145

◆ その他

2018年度 実施一覧

としまアート夏まつり 2 プログラム 計 2 日間 親子 56 組 148 人参加 (大人 74 人・子ども 74 人)

プログラム名	ジャンル	アーティスト	日数	回数	親子組数	大人	子ども	参加人数
親子で楽しむ ぶちライブ！「スティールパンのデュオライブ！」	音楽	トンチ、佐々木謙太郎	1	2	45	63	61	124
アーティストとあそぼう！「親子で遊ぶ からだワークショップ」	身体表現	松岡大	1	1	11	11	13	24

2018年度会計報告

活動計算書

(単位：円)

	2018 年度	2017 年度	2016 年度
I 経常収益			
1. 受取寄附金	922,016	890,880	665,892
2. 受取助成金等	47,718,936	50,712,612	42,943,896
3. 事業収益	18,390,060	18,536,570	27,225,900
4. その他収益	1,058,716	102	6,711
経常収益計	68,089,728	70,140,164	70,842,399
II 経常費用			
1. 事業費	52,815,906	57,073,419	57,767,487
2. 管理費	12,844,836	11,743,048	12,342,168
経常費用計	65,660,742	68,816,467	70,109,655
当期経常増減額	2,428,986	1,323,697	732,744
法人税、住民税及び事業税	96,117	70,000	70,000
当期正味財産増減額	2,332,869	1,253,697	662,744
前期繰越正味財産額	9,237,188	7,983,491	7,320,747
次期繰越正味財産額	11,570,057	9,237,188	7,983,491

※財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準(2010 年 7 月 20 日 2017 年 12 月 12 日

最終改正 NPO 法人会計基準協議会)によっています。

※消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

貸借対照表

(単位：円)

	2018 年度	2017 年度	2016 年度
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,969,248	6,684,643	6,692,110
未収金	4,248,600	3,693,600	4,093,600
未収選付法人税等		15	15
前払金	514,841	299,330	205,916
流動資産合計	12,732,689	10,677,588	10,991,641
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	0
資産合計	12,732,689	10,677,588	10,991,641
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	168,026	148,099	417,459
未払消費税等	319,200	190,200	496,100
未払法人税等	96,100	70,000	70,000
前受金	218,000	695,388	1,367,000
預り金	361,306	336,713	657,591
流動負債合計	1,162,632	1,440,400	3,008,150
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,162,632	1,440,400	3,008,150
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	9,237,188	7,983,491	7,320,747
当期正味財産増減額	2,332,869	1,253,697	662,744
正味財産合計	11,570,057	9,237,188	7,983,491
負債及び正味財産合計	12,732,689	10,677,588	10,991,641

2018年度 支援団体一覧

※個別事業ごとの協賛・助成などを含む

◆ASIAS

協賛	アサヒグループホールディングス株式会社 花王株式会社 花王ハートポケット倶楽部
助成	草の根市民基金・ぐらん 公益財団法人東京都福祉保健財団
協働	文部科学省・文化庁 豊島区教育委員会 豊島区文化商工部文化デザイン課 公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団 横浜市芸術文化教育プラットフォーム
寄付	アサヒワンビールクラブ

◆パフォーマンスキッズ・トーキョー

共同主催	アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
助成・協力	東京都

◆ぞうしがや こどもステーション

共同主催	豊島区文化商工部文化デザイン課
------	-----------------

◆団体支援など

受賞	「よみうり子育て応援団大賞」奨励賞（読売新聞社）
協働	公益財団法人パブリックリソース財団 (オンライン寄付サイト Give One)
寄付	個人で寄付いただいた皆様

役員一覧

理事長	堤 康彦
副理事長	市村 作知雄 (特定非営利活動法人 アートネットワーク・ジャパン顧問 / フェスティバル / トーキョー実行委員会 副実行委員長)
理事	河村 めぐみ (アサヒビール株式会社 マーケティング本部 デジタルマーケティング部 担当副部長) 熊倉 敬聡 (元 慶應義塾大学・京都造形芸術大学 教授) 柄田 明美 (国立音楽大学附属図書館主任司書) 坪井 香保里 (特定非営利活動法人インフォメーションセンター) 野村 誠 (作曲家) 藤川 大祐 (千葉大学教育学部 教授) 宮浦 宜子 (Life on the table 代表) 若林 朋子 (プロジェクト・コーディネーター / プランナー) 橋爪 優子 (有限会社 空間創造研究所 研究員) 糸井 登 (学校法人 立命館小学校 教諭) 岩井 成昭 (美術家) 大西 瞳 (株式会社マインドスケープ チーフプロデューサー) 竹丸 草子 (教育コーディネーター / プロジェクトプランナー)
監事	
アドバイザー	

沿革

1999 年度	任意団体「APA 芸術振興協会」の名称で活動開始
2000 年度	初めての ASIAS 授業実施
2001 年度	「特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち」設立
2003 年度	アサヒビール芸術賞受賞
2004 年度	拠点を旧豊島区立朝日中学校に移転 「にしすがも創造舎」をオープン 特別支援学級での ASIAS を本格的に開始 「パフォーマンスキッズ・トーキョー」事業開始
2010 年度	児童養護施設での ASIAS を開始
2017 年度	拠点を旧豊島区立真和中学校に移転 「ぞうしがや こどもステーション」オープン
2018 年度	「第 12 回よみうり子育て応援団大賞」奨励賞受賞

ご支援のお願い

私たちはプロのアーティストと子どもたちの出会いの場をつくる活動をしています。

この出会いを必要としているたくさん子どもたちに私たちの活動を届けるために、

みなさんの助けが必要です。ご支援のご協力をお願い致します。

「未来を支える」サポーターになる

月々1,000円～のご支援により、事業の継続的な運営を支えてください。

サポーターのお申込み

ご寄付はウェブサイトより承ります。

- ・ご寄付をいただいた皆様へは、年に1回、活動報告書をお届けします。
- ・ご寄付の頻度は「毎月」または「3か月ごと」からお選びいただけます。



芸術家と子どもたちウェブサイト
<https://www.children-art.net>

特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち

〒171-0031 東京都豊島区目白5-24-12 旧真和中学校4階

TEL 03-5906-5705

FAX 03-5906-5706

URL <https://www.children-art.net>

mail mail@children-art.net

発行日：2019年6月

編集・デザイン：保手濱歌織

表紙写真撮影：松本和幸

※無断転載・複製を禁ず